



KIRIN 平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月4日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 鈴木 健介 TEL 03-5540-3455

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	1,549,179	△3.3	119,969	5.5	115,566	7.6	26,928	11.2
22年12月期第3四半期	1,602,854	△3.9	113,675	21.0	107,437	△2.4	24,216	△41.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	28.00	27.58
22年12月期第3四半期	25.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	2,735,276	1,159,600	35.1	996.78
22年12月期	2,649,197	1,159,036	36.3	1,000.51

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 958,745百万円 22年12月期 962,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
23年12月期	—	13.50	—	—	—
23年12月期 (予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,110,000	△3.1	144,000	△5.0	138,000	△2.1	27,000	137.0	28.07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	965,000,000株	22年12月期	965,000,000株
23年12月期3Q	3,158,132株	22年12月期	3,010,208株
23年12月期3Q	961,826,141株	22年12月期3Q	953,218,782株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な原因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成23年1月1日～平成23年9月30日)のわが国経済は、東日本大震災による供給面の制約の解消が進んだことなどから持ち直してきていますが、海外景気の下振れや為替の変動など、引き続き注意が必要な状況にあります。

このような状況の中、キリングroupでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」(略称:KV2015)実現に向けた第2ステージである「2010-2012年キリングroup 中期経営計画」の2年目として、引き続き“質的拡大”に取り組みました。

国内においては、キリンビール㈱、キリンビバレッジ㈱を中心に、引き続き総合飲料グループ戦略を推進するとともに、機能別に組織されたクロス・カンパニー・チーム主導の下、グループ横断で一層の収益性と効率性向上を図りました。また、東日本大震災で被災したキリンビール㈱仙台工場での製造を9月に再開しました。

海外では、3月のベトナム飲料製造・販売会社であるインターフード社株式の取得に続き、華潤創業有限公司との中国における清涼飲料事業に関する合弁会社の設立を8月に完了し、今後急速な成長が見込まれる中国・東南アジアの清涼飲料市場での事業基盤を強化しました。さらに、8月にブラジルでビール事業及び清涼飲料事業を展開するスキナリオール・グループの株式の50.45%を取得しました(11月4日に残余の49.55%も取得し、当社の100%子会社としております)。これまで当社が構築してきたアジア・オセアニアでの事業基盤に加え、新たに成長著しいブラジルでの足掛かりを獲得することにより、国際総合飲料グループ戦略をさらに進展させます。なお、スキナリオール・グループの業績は次年度より取り込む予定であり、当第3四半期の連結経営成績には含まれておりません。

また、スキナリオール・グループの株式取得につき、同グループの少数株主が現地裁判所に対して提起していた仮処分及び本案訴訟の申立については、11月4日に取り下げの申請が提出されており、これにより裁判は終結の見込みです。

これらの結果、当第3四半期の売上高は減少しましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は増加しました。

連結売上高	1兆5,491億円(前年同期比)	3.3%減
連結営業利益	1,199億円(前年同期比)	5.5%増
連結経常利益	1,155億円(前年同期比)	7.6%増
連結第3四半期純利益	269億円(前年同期比)	11.2%増

セグメント別の業績は次のとおりです。

〈国内酒類事業〉

国内酒類事業では、キリンビール㈱がさらなる定番商品強化に努め、「キリン一番搾り生ビール」「淡麗グリーンラベル」「キリンのどごしく生」などが堅調だったほか、RTD※では、アルコール3%以下のソフトカテゴリーにおける新提案「キリンチューハイ 氷結やさしい果実の3%」の販売も好調に推移しました。

※RTD: Ready to drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料

また、東日本大震災により被災し操業を停止していた仙台工場では、11月上旬の初出荷に向け、9月下旬からビールの仕込みを再開しました。同じく9月からは、「食」を通じてニッポンの元気を応援する「今こそ! 選ぼうニッポンのうまい! 2011」プレゼントキャンペーンを実施しています。なお、このキャンペーンは、当社グループが被災地の復興に向けてグループをあげて継続的に取り組む復興支援活動(「復興応援 キリン絆プロジェクト」)の一環として実施するものです。

メルシャン㈱では、「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」「メルシャンビストロ」などの国産デイリーワインが好調だったほか、チリワイン「フロンテラ」などの輸入デイリーワインも堅調に推移しました。

また、キリンビール㈱と共同開発した「ワインのためのペットボトル」が、好調に推移し拡大の続くペットボトルワインカテゴリーで国内シェアNo.1※を獲得しました。

※ペットボトルワインカテゴリー国内売上シェアNo.1 2010年6月～2011年5月実績。(ペットボトルワインのみ抽出) 流通専門誌「チェーンストアエイジ」調べ 出典TOPNAVI-NET

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

国内酒類事業連結売上高	6,363億円(前年同期比)	6.6%減
国内酒類事業連結営業利益	569億円(前年同期比)	3.9%増

〈国内飲料事業〉

国内飲料事業では、キリンビバレッジ㈱が商品力・営業力の強化を図るとともに、継続的に収益構造改革に取り組み、成長の実現に向け競争力の再構築を進めています。

基盤ブランドである「キリン 午後の紅茶」では、「キリン午後の紅茶 ストレートティー」をはじめとする定番3アイテムや「キリン 午後の紅茶 エスプレッソティー」が引き続き好調だったほか、本格・濃厚ミルクティーとして「キリン午後の紅茶 パンジェンシー 茶葉2倍ミルクティー」を発売し、紅茶市場を牽引しました。「キリン ファイア」では、ペットボトルコーヒー「キリン ファイア ネオ」シリーズをリニューアルするなど、コーヒー市場の活性化を図りました。また、「世界のKitchenから」ブランドから発売した「キリン 世界のKitchenからソルティ・ライチ」は、美味しく水分と塩分を補給できるという商品特長が高く評価され、発売後1ヶ月で年間販売目標を突破しました。

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

国内飲料事業連結売上高	2,363億円 (前年同期比)	12.3%減
国内飲料事業連結営業利益	32億円 (前年同期比)	3.3%増

〈海外酒類・飲料事業〉

海外酒類・飲料事業では、ライオン社が、酒類、飲料事業ともに、引き続きブランド力強化を重視した事業経営を推進し、収益性と効率性の向上に努めました。最需要期である夏季の天候不順やその後の自然災害などの影響もありましたが、酒類事業では徐々に回復が見られました。一方、飲料事業では、消費者の更なる低価格志向など厳しい市場環境が続く中、中期的な収益性改善に向けた抜本策の取り組みを進めています。

これらの結果、売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

海外酒類・飲料事業連結売上高	3,476億円 (前年同期比)	19.5%増
海外酒類・飲料事業連結営業利益	150億円 (前年同期比)	5.2%減

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱において、腎性貧血治療剤「ネスプ」や透析における合併症のひとつである二次副甲状腺機能亢進症治療剤「レグバラ」などが好調に推移したほか、花粉飛散量が多かった影響で、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」の売上も前年を大きく上回りました。

また、4月には米国及び欧州においてがん関連領域をはじめとする医療用医薬品の開発・販売体制を有する英国スペシャリティファーマであるプロストラカン社の全株式を取得しました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料が、アジア向けの輸液用アミノ酸や医薬原料を中心に販売数量が伸びましたが、円高の影響を受けました。

なお、協和発酵キリン㈱は、同社が保有する協和発酵ケミカル㈱の全株式を3月31日に譲渡しました。これにより、化学品事業の業績は第1四半期連結会計期間(平成23年1月1日から3月31日まで)のみが含まれております。

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	2,540億円 (前年同期比)	15.2%減
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	406億円 (前年同期比)	13.4%増

研究開発においては、4月に独自の抗体技術を用いたヒト化モノクローナル抗体KW-0761の承認申請を行なうなど、国内外での新薬候補品の開発は順調に進みました。

〈その他事業〉

キリン協和フーズ㈱では、引き続き価値提案型の開発・営業体制を強化するとともに、お客様のニーズに応える製品・サービスの提供に努めました。

これらの結果、売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

その他事業連結売上高	747億円 (前年同期比)	22.2%増
その他事業連結営業利益	48億円 (前年同期比)	19.9%減

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、有形固定資産等が減少したものの、現金及び預金、無形固定資産、投資有価証券等の増加により、前連結会計年度末に比べ860億円増加して2兆7,352億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払酒税等が減少したものの、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に比べ855億円増加して1兆5,756億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億円増加して1兆1,596億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結売上高、連結営業利益及び連結経常利益は平成23年8月5日の業績予想の修正における見直し数値に対して順調に進捗しておりますが、平成23年12月期第3四半期会計期間において投資有価証券評価損を187億円及び固定資産減損損失を51億円追加計上したこと等に伴い、当該損失を特別損失として通期連結業績予想に織り込み、連結当期純利益の予想を修正します。なお、投資有価証券評価損につきましては、平成23年12月期の期末日の時価により、評価損の額が変動する場合、もしくは評価損を計上しない場合があります。

また、平成23年8月2日に株式の取得を適時開示致しましたスキンカリオール・グループの損益は次年度より取り込む予定です。平成23年12月期への影響は軽微であることから、上記連結業績予想数値には反映しておりません。

【平成23年12月期の連結業績予想】

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,110,000	144,000	138,000	52,000	54円06銭
今回修正予想(B)	2,110,000	144,000	138,000	27,000	28円07銭
増減額(B-A)	—	—	—	△25,000	—
増減率(%)	—	—	—	△48.1	—
前期実績(平成22年12月期)	2,177,802	151,612	140,969	11,394	11円95銭

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

2) 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

3) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は109百万円、経常利益は95百万円、税金等調整前四半期純利益は1,575百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,854百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,583	51,463
受取手形及び売掛金	308,854	415,268
商品及び製品	116,654	129,704
仕掛品	33,622	19,917
原材料及び貯蔵品	41,093	38,191
その他	71,016	74,483
貸倒引当金	△2,146	△1,939
流動資産合計	654,677	727,088
固定資産		
有形固定資産	686,637	739,235
無形固定資産		
のれん	588,573	562,492
その他	112,314	95,864
無形固定資産合計	700,887	658,357
投資その他の資産		
投資有価証券	597,346	428,383
その他	102,408	103,562
貸倒引当金	△6,681	△7,430
投資その他の資産合計	693,073	524,515
固定資産合計	2,080,598	1,922,108
資産合計	2,735,276	2,649,197

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,499	169,036
短期借入金	161,383	181,786
コマーシャル・ペーパー	95,994	10,999
1年内償還予定の社債	3,229	3,361
未払法人税等	20,063	26,544
引当金	15,743	7,491
その他	232,830	280,475
流動負債合計	658,744	679,695
固定負債		
社債	386,062	320,070
長期借入金	303,982	262,720
退職給付引当金	63,993	66,882
その他の引当金	6,173	6,212
その他	156,719	154,578
固定負債合計	916,931	810,464
負債合計	1,575,675	1,490,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,419	81,412
利益剰余金	823,437	821,519
自己株式	△3,163	△2,985
株主資本合計	1,003,739	1,001,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,548	7,252
繰延ヘッジ損益	359	1,285
土地再評価差額金	△4,713	△4,713
為替換算調整勘定	△53,189	△43,341
評価・換算差額等合計	△44,994	△39,516
新株予約権	228	207
少数株主持分	200,626	196,352
純資産合計	1,159,600	1,159,036
負債純資産合計	2,735,276	2,649,197

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,602,854	1,549,179
売上原価	964,832	909,776
売上総利益	638,021	639,403
販売費及び一般管理費	524,345	519,433
営業利益	113,675	119,969
営業外収益		
受取利息	1,022	2,914
受取配当金	2,221	3,565
持分法による投資利益	9,750	7,945
その他	3,507	2,633
営業外収益合計	16,501	17,059
営業外費用		
支払利息	16,250	16,176
為替差損	3,477	—
その他	3,012	5,287
営業外費用合計	22,740	21,463
経常利益	107,437	115,566
特別利益		
固定資産売却益	3,689	16,227
投資有価証券売却益	7,121	1,619
関係会社株式売却益	122	15,543
その他	3,884	4,345
特別利益合計	14,817	37,735
特別損失		
固定資産除却損	3,729	1,712
固定資産売却損	411	760
減損損失	—	6,842
投資有価証券評価損	3,301	22,310
投資有価証券売却損	104	—
関係会社株式売却損	6,392	4,175
在外会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	7,568	—
退職給付制度改定損	6,987	—
過年度損益修正損	5,300	—
事業構造改善費用	2,097	4,298
東日本大震災関連損失	—	18,455
その他	9,974	9,651
特別損失合計	45,868	68,206
税金等調整前四半期純利益	76,385	85,094
法人税等	45,247	44,862
過年度法人税等調整額	1,169	—
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,232
少数株主利益	5,752	13,303
四半期純利益	24,216	26,928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,385	85,094
減価償却費	76,919	76,535
減損損失	—	6,842
のれん償却額	25,759	28,163
受取利息及び受取配当金	△3,243	△6,480
持分法による投資損益(△は益)	△9,750	△7,945
支払利息	16,250	16,176
為替差損益(△は益)	1,579	288
固定資産売却益	—	△16,227
固定資産除売却損	4,140	1,907
投資有価証券売却益	△7,121	△1,619
投資有価証券評価損	—	22,310
関係会社株式売却益	—	△15,543
関係会社株式売却損	6,392	4,175
売上債権の増減額(△は増加)	80,096	80,092
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,878	△9,045
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,012	△19,739
未払酒税の増減額(△は減少)	△36,212	△31,164
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,274	△687
預り金の増減額(△は減少)	△17,594	△7,322
その他	947	9,040
小計	200,382	214,852
利息及び配当金の受取額	10,603	14,741
利息の支払額	△16,527	△17,058
法人税等の支払額	△27,622	△51,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,835	161,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△84,417	△61,883
有形及び無形固定資産の売却による収入	11,083	20,529
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△86,545	△246,355
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	16,986	11,407
子会社株式の取得による支出	△6,315	△886
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△41,207
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	703	71,339
その他	2,800	△5,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,704	△252,407

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,027	△23,001
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	44,998	84,994
長期借入れによる収入	41,594	129,609
長期借入金の返済による支出	△103,574	△90,952
社債の発行による収入	—	70,000
社債の償還による支出	△4,880	△5,063
少数株主への子会社減資による支出	△2,058	—
デリバティブ決済による収入	12,585	—
自己株式の取得による支出	△280	△364
自己株式の売却による収入	58	174
配当金の支払額	△22,878	△25,009
少数株主への配当金の支払額	△5,132	△5,997
その他	△1,331	△4,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,925	130,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,877	△3,275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,672	35,732
現金及び現金同等物の期首残高	118,797	45,278
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	55
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,125	81,065

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	酒類 (百万円)	飲料・食品 (百万円)	医薬 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	813,472	462,396	153,927	173,057	1,602,854	—	1,602,854
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,776	4,483	167	25,194	50,621	(50,621)	—
計	834,249	466,879	154,094	198,251	1,653,476	(50,621)	1,602,854
営業利益	84,329	9,024	28,900	6,432	128,687	(15,011)	113,675

(注) 1 事業区分は、製品の種類、性質を考慮した経営管理上の区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類	ビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒、エンジニアリング、物流他
飲料・食品	清涼飲料、食品、健康・機能性食品他
医薬	医薬品
その他	バイオケミカル、化学品他

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,273,749	282,077	47,027	1,602,854	—	1,602,854
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,851	2,833	6,484	33,168	(33,168)	—
計	1,297,601	284,910	53,511	1,636,023	(33,168)	1,602,854
営業利益	109,348	15,070	5,128	129,547	(15,871)	113,675

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	アジア・オセアニア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	303,756	66,737	370,493
II 連結売上高(百万円)	—	—	1,602,854
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.0	4.1	23.1

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、「国内酒類」事業を営む麒麟麦酒㈱、「国内飲料」事業を営むキリンビバレッジ㈱、「海外酒類・飲料」事業を営むLION PTY LTD、「医薬・バイオケミカル」事業を営む協和発酵キリン㈱等の各事業会社が、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業会社の単位を重視し、経済的特徴の類似性等を考慮した上で各事業会社を結合し、「国内酒類」「国内飲料」「海外酒類・飲料」「医薬・バイオケミカル」の4つを報告セグメントとしております。

「国内酒類」はビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒他酒類製品の製造・販売を行っており、エンジニアリング、物流等の事業を含んでおります。

「国内飲料」は清涼飲料の製造・販売を行っております。

「海外酒類・飲料」は海外におけるビール、洋酒、清涼飲料、乳製品等の製造・販売を行っております。

「医薬・バイオケミカル」は医薬品、バイオケミカル製品等の製造・販売を行っております。

なお、「国内酒類」「国内飲料」は一部在外会社を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	636,370	236,301	347,699	254,084	74,723	—	1,549,179
セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,611	2,357	755	8,273	21,790	△59,788	—
計	662,981	238,658	348,455	262,358	96,514	△59,788	1,549,179
セグメント利益	56,935	3,231	15,036	40,644	4,860	△738	119,969

(注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△738百万円には、セグメント間取引消去14,539百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,277百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2011年第3四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
6. その他情報

キリンホールディングス株式会社
2011年11月4日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	15,491	16,028	△536	△3.3%
売上総利益	6,394	6,380	13	0.2%
販売費及び一般管理費	5,194	5,243	△49	△0.9%
営業利益	1,199	1,136	62	5.5%
営業外収益	170	165	5	3.4%
営業外費用	214	227	△12	△5.6%
経常利益	1,155	1,074	81	7.6%
特別利益	377	148	229	154.7%
特別損失	682	458	223	48.7%
税金等調整前四半期純利益	850	763	87	11.4%
法人税等	448	464	△15	△3.3%
少数株主利益	133	57	75	131.3%
四半期純利益	269	242	27	11.2%
EBITDA ※	2,021	1,950	70	3.6%

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

		2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	13,191億円	13,504億円	△313億円	△2.3%
営業利益	のれん等償却前	1,551億円	1,447億円	104億円	7.2%
営業利益率	対酒税抜き・のれん等償却前	11.8%	10.7%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	9.1%	8.4%		
海外比率	酒税抜き売上高	31.4%	27.4%		
D/Eレシオ		0.99	0.92		

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)
ライオン 酒類 (豪ドル)	84.11	81.12
ライオン 飲料 (豪ドル)		80.77
サンミゲルビール (フィリピンペソ)	1.90	1.98
フレイザー・アンド・ニーヴ (シンガポールドル)	65.26	—

	2011年第3四半期 (実績)	2010年第3四半期 (実績)
ライオン 酒類	2010年10月～2011年6月	2009年10月～2010年6月
ライオン 飲料		2010年1月～2010年6月 ※1
サンミゲルビール		2009年10月～2010年6月
フレイザー・アンド・ニーヴ	2011年1月～2011年6月 ※2	—

※1 決算期変更により2010年第1四半期は取り込まれていない

※2 2011年第2四半期より取り込み

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	15,491	16,028	△536	△3.3%
国内酒類	6,363	6,816	△452	△6.6%
麒麟ビール (単社)	5,708	6,110	△402	△6.6%
メルシャン	504	522	△18	△3.4%
その他・内部取引消去	150	183	△32	△17.7%
国内飲料	2,363	2,694	△331	△12.3%
麒麟ビバレッジ	2,383	2,676	△292	△10.9%
その他・内部取引消去	△20	18	△39	—
海外酒類・飲料	3,476	2,909	567	19.5%
ライオン	3,221	2,654	566	21.3%
酒類	1,429	1,430	△1	△0.1%
飲料	1,792	1,224	567	46.4%
その他・内部取引消去	255	254	1	0.5%
医薬・バイオケミカル	2,540	2,996	△455	△15.2%
協和発酵麒麟	2,623	3,044	△420	△13.8%
医薬	1,680	1,539	141	9.2%
バイオケミカル	562	573	△11	△1.9%
化学品 他	380	931	△551	△59.2%
その他・内部取引消去	△82	△48	△34	—
その他	747	611	135	22.2%

<参考> 酒税抜売上高

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)
麒麟ビール (単社)	3,458	3,633

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	1,199	1,136	62
国内酒類	569	547	21
キリンビール(単社) マネジメントフィ等	636 △91	637 △97	△1 6
計	545	539	5
メルシャン マネジメントフィ等	5 △3	△18 —	23 △3
計	1	△18	20
その他	22	26	△3
国内飲料	32	31	1
キリンビバレッジ マネジメントフィ等 のれん償却額	75 △28 △14	76 △28 △14	△1 0 —
計	31	32	△1
その他	0	△1	2
海外酒類・飲料	150	158	△8
ライオン(連結組替後) 酒類 のれん償却額 ブランド償却費	134 355 △145 △49	139 367 △141 △47	△4 △11 △3 △1
計	160	178	△17
飲料 のれん償却額 ブランド償却費	77 △49 △21	44 △36 △19	33 △13 △2
計	6	△10	17
本社費用	△32	△27	△4
その他	15	19	△3
医薬・バイオケミカル	406	358	48
協和発酵キリン(連結組替後) 医薬 バイオケミカル 化学品 他 のれん償却額消去 のれん償却額	406 331 30 22 69 △47	358 268 28 39 69 △47	48 63 1 △16 △0 0
その他	48	60	△12
全社費用・セグメント間取引消去	△7	△20	12

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・KIRINブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール (単社)	酒類限界利益減	△154	ビール販売数量減 △28千kl △38億 発泡酒販売数量減 △50千kl △52億 新ジャンル販売数量減 △12千kl △13億 RTD販売数量減 △7千kl △8億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	5	麦芽価格安 12億、包装資材価格安 3億、 砂糖・液糖価格高 △5億 他
	販売費減	71	販売促進費・広告費減 70億 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル 68億、RTD △2億 他)
	その他費用減	83	人件費減 10億、減価償却費減 15億、 電力料・燃料費減 6億、広報費減 5億、 修繕費減 3億、マネジメントフィ等減 6億、 東日本大震災関連損失振替額 25億 他
計		5	
キリンビバレッジ ※	数量差異	△30	国内販売数量減 △270万ケース
	コストアップ	△7	原材料コストアップ △27億、原材料コストダウン 20億
	容器構成差異等	△29	
	販売費減	41	販売促進費・広告費減 35億、運搬費減 5億
	その他費用減	24	減価償却費減 8億、雑費減 4億、販売機器費減 3億、 修繕費減 1億 他
計		△1	

※ 小岩井乳業は2011年よりその他セグメント

主な営業費用

(単位：億円)

		2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)
販売促進費		1,071	1,132
広告費		442	504
キリンビール (単社)	販売促進費・広告費	502	572
キリンビバレッジ	販売促進費・広告費	726	802
研究開発費		415	406
協和発酵キリン (内部取引除く)		336	320

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△44	△62	18	
金融収支	△96	△130	33	
持分法による投資損益	79	97	△18	
サンミゲルビール	4	45	△41	現地持分損益 △41億 他
フレイザー・アンド・ニーヴ	24	—	24	現地持分損益 32億、 のれん償却額 △8億 他
その他	50	51	△0	キリンアムジェン 4億 他
為替差損益	△20	△34	13	
その他	△5	4	△10	
経常利益	1,155	1,074	81	
特別損益	△304	△310	5	
特別利益	377	148	229	
固定資産売却益	162	36	125	
投資有価証券売却益	16	71	△55	
関係会社株式売却益	155	1	154	
その他	43	38	4	
特別損失	△682	△458	△223	
固定資産除却損	△17	△37	20	
固定資産売却損	△7	△4	△3	
減損損失	△68	—	△68	
投資有価証券評価損	△223	△33	△190	
投資有価証券売却損	—	△1	1	
関係会社株式売却損	△41	△63	22	
在外会社清算に伴う 為替換算調整勘定取崩損	—	△75	75	
退職給付制度改定損	—	△69	69	
過年度損益修正損	—	△53	53	
事業構造改善費用	△42	△20	△22	
東日本大震災関連損失	△184	—	△184	
その他	△96	△99	3	
法人税等	△448	△464	15	
少数株主利益	△133	△57	△75	
四半期純利益	269	242	27	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2011年 第3四半期末	2010年 期末	増減額	増減内容
流動資産	6,546	7,270	△724	
現金及び預金	855	514	341	
受取手形及び売掛金	3,088	4,152	△1,064	・前年度末が休日による減少 他
棚卸資産	1,913	1,878	35	
その他	688	725	△36	
固定資産	20,805	19,221	1,584	
有形固定資産	6,866	7,392	△525	・化学品事業の売却による減少 他
無形固定資産	7,008	6,583	425	
のれん	5,885	5,624	260	・新規連結子会社による増加 他
その他	1,123	958	164	・新規連結子会社による増加 他
投資その他の資産	6,930	5,245	1,685	・新規連結子会社による増加 他
資産合計	27,352	26,491	860	
流動負債	6,587	6,796	△209	
支払手形及び買掛金	1,294	1,690	△395	・化学品事業の売却による減少 他
有利子負債	2,606	1,961	644	・キリンホールディングスのCP発行による増加 他
その他	2,686	3,145	△458	・前年度末が休日による未払酒税の減少 他
固定負債	9,169	8,104	1,064	
有利子負債	6,900	5,827	1,072	・キリンホールディングスの社債発行による増加 他
その他	2,268	2,276	△7	
負債合計	15,756	14,901	855	
株主資本	10,037	10,019	17	
評価・換算差額等	△449	△395	△54	
新株予約権	2	2	0	
少数株主持分	2,006	1,963	42	
純資産合計	11,596	11,590	5	
負債純資産合計	27,352	26,491	860	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,613	1,668	△55
税金等調整前四半期純利益	850	763	87
減価償却費	765	769	△3
のれん償却額	281	257	24
その他	△284	△122	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,524	△1,457	△1,067
設備投資	△618	△844	225
その他	△1,905	△612	△1,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,301	△549	1,850
有利子負債の増減額	1,655	△358	2,014
配当金の支払額	△310	△280	△29
その他	△44	89	△134
換算差額等	△32	△98	66
現金及び現金同等物の増減額	357	△436	794

(2) セグメント別情報

2011年第3四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	236	90	204	162	62	9	765
のれん償却額	1	20	198	55	5	—	281
設備投資	248	64	144	121	33	5	618
EBITDA ※	690	122	522	639	140	△93	2,021

2010年第3四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	261	103	166	162	62	13	769
のれん償却額	1	20	179	51	3	—	257
設備投資	261	76	126	272	22	83	844
EBITDA ※	699	143	513	556	124	△87	1,950

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

6. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益 (連結組替後)

2011年第3四半期実績

<連結子会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	2,623	383	389	226	114
のれん償却額消去		69	69	69	35
のれん償却額		△47	△47	△47	△47
連結取込計	2,623	406	412	249	103

<持分法適用関連会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	1,032	290	242	126	61
現地持分損益			61	61	61
ブランド償却費			△12	△12	△12
のれん償却額			△44	△44	△44
連結取込計			4	4	4

(2) ライオン 現地通貨ベース売上高・営業利益 (連結組替後)

(単位:百万豪ドル)

	2011年 第3四半期 (実績)	2010年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
			絶対値	増減率
売上高	3,829	3,279	550	16.8%
酒類	1,699	1,762	△63	△3.6%
飲料	2,130	1,516	614	40.5%
営業利益(のれん・ブランド償却前)	476	473	3	0.7%
酒類	422	452	△30	△6.6%
飲料	92	54	37	68.1%
本社費用	△38	△34	△3	—

(3) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2011年 第3四半期		2010年 第3四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	521	△5.1	549	△5.9
発泡酒	445	△10.1	495	△8.6
新ジャンル	535	△2.2	547	3.2
計	1,502	△5.7	1,593	△3.8
RTD	141	△4.9	148	0.6
清涼発泡飲料	41	△31.5	61	76.0
売上高	億円	%	億円	%
ビール	2,153	△5.3	2,273	△5.6
発泡酒	1,359	△10.1	1,512	△8.6
新ジャンル	1,405	△2.2	1,436	3.2
計	4,918	△5.8	5,222	△4.3
RTD	388	△4.8	408	1.9
焼酎・洋酒・その他 ※	400	△16.5	479	10.8
売上高計	5,708	△6.6	6,110	△2.9

上記売上数量、売上高には輸出分を含む

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ
 <カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第3四半期				2010年 第3四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	1,581	12	△159	91	1,740	13	△202	90
		烏龍茶	201	1	△21	91	222	2	△16	93
		紅茶	3,427	26	268	108	3,159	23	388	114
		計	5,209	39	88	102	5,121	38	170	103
	コーヒー飲料	2,319	17	△155	94	2,474	18	△229	92	
	果実・野菜飲料	1,352	10	△255	84	1,607	12	△176	90	
	炭酸飲料	586	4	△233	72	819	6	143	121	
	水	2,603	20	367	116	2,236	16	△418	84	
	その他	940	7	△82	92	1,022	6	△118	90	
	国内市場清涼飲料計		13,009	97	△270	98	13,279	96	△628	95
海外市場清涼飲料計			433	3	△86	83	519	4	△44	92
清涼飲料計			13,442	100	△356	97	13,798	100	△672	95

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第3四半期				2010年 第3四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	3,125	23	△187	94	3,312	24	△238	93
		PET容器	大型PET	2L	2,726	21	450	120	2,276	16
		1.5L、1L、900ml、750ml	1,112	8	△9	99	1,121	8	△74	94
		大型PET計	3,838	29	441	113	3,397	24	△443	88
	小型PET	500ml	3,655	27	△276	93	3,931	29	14	100
		350ml以下	1,028	8	56	106	972	7	113	113
		小型PET計	4,683	35	△220	96	4,903	36	127	103
	PET計		8,521	64	221	103	8,300	60	△316	96
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、紙、ギフト 他		1,363	10	△304	82	1,667	12	△74	96
海外市場清涼飲料計			433	3	△86	83	519	4	△44	92
清涼飲料計			13,442	100	△356	97	13,798	100	△672	95

③ 協和発酵キリン

売上高		2011年 第3四半期		2010年 第3四半期	
		実績	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	404	143	281	112
	エスポー	40	47	87	88
	(ネスプ/エスポー)	(444)	(121)	(368)	(105)
	レグパラ	82	122	67	143
免疫・アレルギー	アレロック	222	116	191	94
	パタノール	98	164	60	94
がん	グラン/ノイアップ ※	105	94	111	92
循環器系	コニール	143	93	153	91

※ ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に承継